

東郷はひとつ ～地域ぐるみで～ 東郷中学校コミュニティ・スクールだより

第4回学校運営協議会を1月31日（火）に開催しました。協議会での熟議の様子等についてお知らせします。

第4回学校運営協議会の様子

1 日時 1月31日（火） 午後6時30分から8時30分まで 於：東郷中学校図書室

2 主な内容

(1) 協働による薩摩川内元気塾（原口泉氏講演会）への取組に関する意見交換

【成果】

- ・ 地域にも学習機会を提供してもらい、いい機会だった。
- ・ （藤川地区にとっては）ツンが身近な話題だったのでよかった。東郷全域に来場を呼びかけるには、地域に親しみのあるものがないのではないか。
- ・ スムーズに進んだ。講演の内容は多岐にわたっていたが、とてもよかった。
- ・ 地区外からの参加はFMさつませんだいによる広報の効果だったのではないか。今後もFMと地区コミの放送で広報してもらおうのいいのではないか。

【課題】

- ・ 地域への広報活動はかなり難しい。回覧板では効果がさほど期待できない状況にある。FMさつませんだいをもっと利用する必要があるようだ。
- ・ 地域住民への広報は難しく、一人一人に声をかけていった。それでも十数人ということで、地域住民はなかなか忙しい状況だったのかもしれない。
- ・ 地域の方からは笑い声などもおきて楽しそうだったが、生徒には内容が難しかったのではないか。
- ・ 学校の保護者の参加が少なく、参加・参画を促進していくのが課題である。

【今後の方向性】

- ・ 中学校単独で行う元気塾については、地域と連携・協働した取組を続けていければよい。

(2) 平成29年度の東郷小学校の教育課程に関する意見交換

東郷小学校の鮫島校長が資料をもとに「ふるさと・コミュニケーション科」の指導計画等について説明し、意見交換を行いました。

【主な意見等】

- ・ いろいろなことを考え、地域の願いも踏まえながら計画がなされている。
- ・ 各地域の思いを組み込んである。地域も応えられるようにしていきたい。
- ・ 地域で学んだものは地域へ返すことが必要である。地域についてまとめた壁新聞等を地域の行事や中学校で発表する場があればいいのではないか。
- ・ 体育祭、東郷芸術祭（文化祭）については、一貫校になった時にどのような形で実施していくのか検討していく必要がある。
- ・ 中学校の体育祭に地域種目が入ったのはとてもよかった。昔の町民運動会の要素を加えるような形で実施できればよいのだが。
- ・ 一貫校ではこれまでの固定観念にとらわれるのではなく、柔軟で多様な考え方のもとに教育活動を行う必要がある。意識を変えることがポイントだと思う。

(3) 「東郷 De Night（夜間補充教室）」の実施状況等について確認を行いました。

(4) 学校関係者評価結果を踏まえ、全校長を交えて意見交換を行いました。

(5) 信頼される学校づくりに向けた取組について全校長を交えて意見交換を行いました。

※ 最終回（第5回）は3月初旬に開催することを確認して閉会しました。